NOMURA

マンスリーレポート

フューチャートレンド世界株

追加型投信／内外／株式

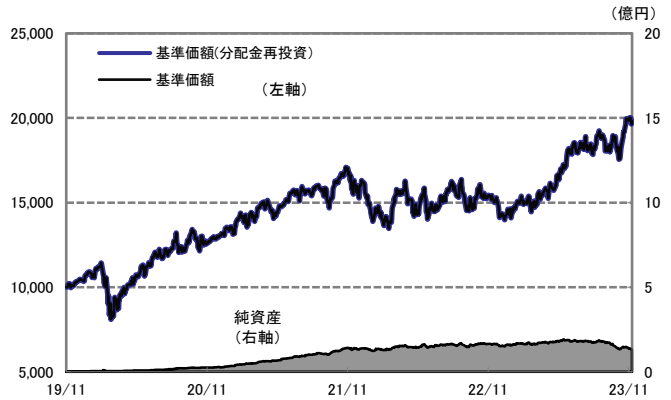
2023年11月30日
（月次改訂）

運用実績

2023年11月30日 現在

運用実績の推移

（設定日前日＝10,000として指数化：日次）



・上記の指数化した基準価額（分配金再投資）の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※	19,819 円
	※分配金控除後
純資産総額	1.3 億円

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	11.8%
3ヵ月	4.8%
6ヵ月	17.1%
1年	30.5%
3年	55.6%

・騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	98.2%

設定来＝2019年11月25日以降

●信託設定日　2019年11月25日
●信託期間　2029年11月26日まで
※2023年12月19日に繰上償還
●決算日　原則 11月14日
（同日が休業日の場合は翌営業日）

分配金（1万口当たり、課税前）の推移

2023年11月	0 円
2022年11月	0 円
2021年11月	0 円
2020年11月	0 円
－	－

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

設定来累計	0 円

基準価額変動の要因分解

要因項目	直近1ヵ月の騰落
基準価額騰落額（分配金込み）	2,084 円
株価要因	2,418 円
為替要因	−308 円
その他（信託報酬等）	−26 円

・上記は、基準日の直近1ヵ月の基準価額（分配金込み）の騰落額を委託会社が一定の条件の基に算出したもので、円貨にて表示しております。

資産内容

2023年11月30日 現在

国・地域別配分

国・地域	純資産比
アメリカ	83.5%
アイルランド	4.5%
日本	1.9%
スイス	1.1%
オランダ	1.0%
その他の国・地域	1.0%
その他の資産	7.0%
合計(※)	100.0%

業種別配分

業種	純資産比
ソフトウェア・サービス	25.9%
半導体・半導体製造装置	11.0%
資本財	10.3%
金融サービス	8.3%
メディア・娯楽	7.4%
その他の業種	30.1%
その他の資産	7.0%
合計	100.0%

テーマ別配分

テーマ	純資産比
AI/ビックデータ	29.9%
IoT/生産回帰	19.7%
新技術	15.6%
テクノロジーの社会への普及	14.7%
エンターテイメント/体験型消費	5.2%
その他のテーマ	7.9%
その他の資産	7.0%
合計	100.0%

通貨別配分

通貨	実質通貨比率
アメリカ・ドル	90.6%
日本・円	5.5%
ユーロ	2.9%
スイス・フラン	1.1%
－	－
その他の通貨	0.0%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
・テーマは適宜見直しを行なうため、分類が変更になる場合があります。
※先物の建玉がある場合は合計欄を表示しておりません。・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2023年11月30日 現在

銘柄	国・地域	業種	テーマ	純資産比
NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	新技術	6.0%
MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	AI/ビックデータ	4.5%
ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	AI/ビックデータ	4.4%
AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	AI/ビックデータ	3.8%
SERVICENOW INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	AI/ビックデータ	3.5%
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	AI/ビックデータ	3.4%
MASTERCARD INC	アメリカ	金融サービス	テクノロジーの社会への普及	3.2%
META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	エンターテイメント/体験型消費	2.9%
MICRON TECHNOLOGY	アメリカ	半導体・半導体製造装置	新技術	2.9%
ORACLE CORPORATION	アメリカ	ソフトウェア・サービス	AI/ビックデータ	2.8%
合計				37.5%

組入銘柄数　48 銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。
・テーマは適宜見直しを行なうため、分類が変更になる場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は　野村アセットマネジメント

商号　野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

NOMURA

マンスリーレポート

フューチャートレンド世界株

追加型投信／内外／株式

2023年12月
（月次改訂）

先月の投資環境

○米国：株式市場は上旬から中旬にかけて、7-9月期の米企業決算において市場予想を上回る決算が相次いだことや、10月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が市場予想を下回ったことなどが好感され、上昇しました。下旬は、材料に乏しくほぼ変わらずとなり、月間で上昇しました。

○欧州：株式市場は上旬から中旬にかけて、英中央銀行が政策金利水準を据え置いたことや、11月の独ZEW景気期待指数が前月から改善し市場予想を上回ったことなどが好感され、上昇しました。下旬は、ECB（欧州中央銀行）のラガルド総裁が物価上昇は今後数ヵ月で加速する可能性があると言及し金融引き締め長期化懸念が高まった一方、中東情勢鎮静化への期待の高まりなどから、ほぼ変わらずとなり、月間で上昇しました。

○アジア地域：東京株式市場は、日銀による緩和的な金融政策継続への期待などから、月間で上昇しました。日本を除くアジア・オセアニア株式市場は、中国政府による追加の景気支援策への期待などから、月間で上昇しました。

○為替：ドル・円レートは、米インフレ率の低下などに伴い日米金利差が縮小したことから、月末のドル・円レートは147円07銭と、月間では2円44銭の円高・ドル安となりました。

先月の運用経過

（運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。）

○月間の基準価額（分配金再投資）騰落率は+11.75％となり、参考指数であるMSCI AC・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）の騰落率を4.37ポイント上回りました。情報技術セクター内の銘柄選択効果や株価騰落率が参考指数を上回った同セクターをオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）としていたことがプラスに寄与しました。

○先月は、「新技術」のテーマに関連する米国のコンピュータ・周辺機器株の売却などをした一方、「テクノロジーの社会への普及」のテーマに関連する米国の資本市場株などを買い付けしました。

今後の運用方針 （2023年12月7日 現在）

○当ファンドは、12月19日に信託の終了日（繰上償還日）を迎えます。

これまでのご愛顧、誠にありがとうございました。なお、マンスリーレポートは今月をもちまして最終となります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

組入上位10銘柄の解説

2023年11月30日現在

	銘柄	組入銘柄解説
1	NVIDIA CORP エヌビディア	ビジュアル・コンピューティングの世界的な代表企業。ゲームや映画での美しいグラフィックスを可能にしたプロセッサー技術からスタートし、データセンター及び自動車市場等に領域を拡大した。同社の技術はバーチャルリアリティ、AI（人工知能）、自動走行車などの高成長が期待される分野で重要な役割を担っている。
2	MICROSOFT CORP マイクロソフト	「Windows」や「Office」などを開発・販売する米ソフトウェアメーカー。パソコン市場の低迷などによる業績低迷期を乗り越え、クラウドコンピューティング事業の高成長、徹底した費用管理などによる事業構造の改革で再び業績成長を遂げている。
3	ALPHABET INC-CL A アルファベット	ウェブ検索最大手のグーグルを保有する持ち株会社。主力の広告事業はモバイル広告を中心に順調に成長を続けていると同時に、動画投稿サイトの「YouTube」での広告収入も拡大し業績に寄与している。加えて、AI分野における同社の強みを活かしたクラウドビジネスの成長も期待される。
4	AMAZON.COM INC アマゾン・ドット・コム	インターネット販売の世界最大手。主力のEC(電子商取引）事業では、積極的な物流投資による配送スピードの向上やプライムサービスによる優良顧客囲い込み戦略が堅調な業績成長を支えており、海外市場への投資も積極的に行なっている。また、クラウドコンピューティング事業であるアマゾン・ウェブ・サービス(AWS)が急成長しており、収益源の多様化も順調に進捗している。
5	SERVICENOW INC サービスナウ	米国のソフトウェア企業。企業内のIT部門や、人事、法務、顧客管理などの業務ワークフローをデジタル化により効率化するプラットフォームを提供する。大企業においてもクラウドサービスの採用が進む中で、企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進する同社のプラットフォームの利用拡大が期待されている。
6	CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A クラウドストライク・ホールディングス	米国のサイバーセキュリティソフトウェア企業。パソコンなどユーザーに近い端末をサイバー攻撃から保護するエンドポイントセキュリティに強みを持つ。クラウドの活用により、端末に負荷をかけずに最新の脅威にも対応できることから、大企業顧客を中心にシェアを伸ばしている。
7	MASTERCARD INC マスターカード	米国の大手クレジットカード会社。クレジットカード及びデビットカードのMastercard®、Maestro®、グローバルATMネットワークのCirrus®のブランドを展開し、グローバルに決済ソリューションを提供する。新興国を中心とした消費の拡大と世界的な非現金取引の拡大を背景とした成長が続いている。
8	META PLATFORMS INC-CLASS A メタ・プラットフォームズ	世界最大級のSNSサイト「Facebook」、2012年に買収した画像・動画共有アプリ「Instagram」を運営するインターネットメディア企業。顧客企業のDXが進み、デジタル広告市場がさらに拡大する中で、両プラットフォームにおける広告収入の増加による中長期的な業績成長が期待される。また、メタバース（仮想空間）市場への大規模投資を発表し、今後の動向が注目されている。
9	MICRON TECHNOLOGY INC マイクロン・テクノロジー	世界的なメモリー半導体メーカー。同社のメモリー半導体は、これまでのPCやスマートフォン向けだけではなく、生成AIを活用したサービス提供を行なうデータセンター向けや自動運転など高度な計算処理が求められるようになっている自動車向け、IoT（モノのインターネット）機器の普及によって需要が高まる産業機械向けなどさまざまな分野で使用されている。半導体メモリー需要そのものの構造的な増加により、中期的な成長が期待される。
10	ORACLE CORPORATION オラクル	米国のソフトウェア企業。データベースマネジメントシステムや、財務会計、人事管理ソフトウェアで高いシェアを誇る。近年、サブスクリプション（定額課金）型でのソフトウェア販売への転換や、クラウドコンピューティング事業などへの経営資源のシフトを進めており、新たな成長軸の構築が期待される。

（出所）Bloombergの情報を基に野村アセットマネジメントが作成。
（注）当資料はファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント
商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

ファンドの特色

● **信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。**

● **新興国を含む世界各国の株式（DR（預託証書）※1を含みます。）を実質的な主要投資対象※2とします。**

※1 Depositary Receipt（預託証書）の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。

※2「実質的な主要投資対象」とは、「グローバル・マルチテーマ マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

・償還金額等が企業の株式の株価に連動する効果を有するリンク債、金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている株価指数連動型上場投資信託証券（ETF）ならびに不動産投資信託証券（REIT）および企業の株式の株価に係るオプションを表示する証券または証書も含まれます。

● **銘柄選定にあたっては、グローバルな視点で投資魅力のある中長期の成長テーマ※を複数選定し、関連する銘柄群を中心に利益成長に着目した銘柄選択を行ないます。**

※「新たな価値の創造」、「新興国へのトレンドの広まり」、「社会構造の変化」の観点から成長テーマの選定を行なうことを基本とします。

◆成長テーマは随時見直しを行ない、それに伴い組入銘柄の変更を行ないます。

● **株式の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。**

● **実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。**

● **ファンドは「グローバル・マルチテーマ マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。**

● **原則、毎年11月14日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。**
分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。

＊ファンドの分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント
商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

NOMURA

マンスリーレポート

フューチャートレンド世界株

追加型投信／内外／株式

2023年11月30日
（月次改訂）

投資リスク

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

●信託期間	2029年11月26日まで（2019年11月25日設定） ＜信託の終了＞ファンドは2023年12月19日に信託を終了（繰上償還）いたします。 したがいまして、2023年12月2日以降の取得のお申込み分より、受付を中止いたします。
●決算日および収益分配	年1回の決算時（原則、11月14日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
●ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額
●ご購入単位	1口単位または1円単位（当初元本1口＝1円）
●ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
●お申込不可日	販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休場日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金の各お申込みができません。 ・ロンドン証券取引所　・ニューヨーク証券取引所
●課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA（少額投資非課税制度）の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ありません。
◆運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.485%（税抜年1.35%）の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額（ご換金時）	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

≪分配金に関する留意点≫
●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

【ご留意事項】
・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
・投資信託は預金保険の対象ではありません。
・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。
野村アセットマネジメント株式会社
☆サポートダイヤル☆ 0120-753104（フリーダイヤル）
＜受付時間＞営業日の午前9時～午後5時
☆インターネットホームページ☆　http://www.nomura-am.co.jp/

＜委託会社＞　野村アセットマネジメント株式会社
［ファンドの運用の指図を行なう者］
＜受託会社＞　野村信託銀行株式会社
［ファンドの財産の保管および管理を行なう者］

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は　野村アセットマネジメント

商号　野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

フューチャートレンド世界株

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
LINE証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3144号	○		○	

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。